Menlo Security 高柳
洋人を日本のカントリーマネージャーに任命

サイバーセキュリティを含む20年以上の経験を活かし、同役職に着任

2023年3月8日（水）　クラウドセキュリティのリーダー企業であるMenlo Security, Inc. は、2月1日
付で高柳洋人が日本のカントリーマネージャーとして着任したことを発表しました。高柳は、IT業界で20年以上の経験を持ち、複数のチームを構築およびリードし、パートナー各社と連携しながら、市場開拓戦略を実施・加速化し、顧客を獲得してきた実績があります。

高柳は、カントリーマネージャーとして、収益創出への取り組み、パートナー様とのビジネス発展を行います。また高柳は、Menlo Securityが日本進出をした2015年に代理店である株式会社マクニカに在籍をしており、わずか1年でMenlo Securityのビジネスを360%成長させた実績があります。

Menlo SecurityのCEOであるアミール・ベン・エフレイムは次のように述べています。「高柳を日本担当のカントリーマネージャーとして任命したことは、当社の日本事業の成長への取り組みを示すものです。当社は、ターゲットとする分野で市場のリーチやパートナーシップを拡大する上で、彼に取り組みの加速化をサポートしてもらいます。また、彼が長年培った専門知識と日本市場に関する理解を活用することで、ランサムウェアやマルウェア、およびHEAT（Highly Evasive Adaptive Threat／高度に回避的で適応型の脅威）に対するMenloの革新的な保護を、お客様に適切に提供し、ビジネスを推進する事を確信しています。」

高柳は、Menlo Securityに入社する以前、Google Cloud社に買収されたMandiant社で、アライアンスと戦略チームのリーダーを務め、既存のパートナーの拡大・成長の実現や新規パートナー獲得に取り組んできました。また、Amazon Web Services（AWS）社で、セキュリティ領域のテクノロジーパートナーのパートナーディベロップメントマネージャーを務め、20社以上のテクノロジーパートナーを担当し、パートナー各社と連携して、GTM（市場開拓）計画や共同販売活動を構築し、アライアンスを推進してきました。

高柳は次のようにコメントしています。「脅威の保護に対するビジネスニーズは、これまで以上に重要です。このニーズに応え、より多くの日本の企業にMenloのテクノロジーによるソリューションを提供できることを楽しみにしています。」

Menlo Securityについて
Menlo Securityは、Webやドキュメント、Eメールからマルウェアの脅威を無くし、企業や組織をサイバー攻撃から保護します。Menlo Securityのクラウドセキュリティプラットフォームは特許取得済みのアイソレーション（分離・無害化）技術を利用しており、規模を問わずエンタープライズ全体を包括的に保護することが可能なだけでなく、エンドポイントソフトウェアが不要で、エンドユーザー環境にも影響を与えません。Menlo Securityは、大手グローバル企業の信頼を得ており、これらには、Fortune 500企業、グローバル金融サービス機関の大手10社のうち8社や大規模な政府機関も含まれます。当社は、Vista Equity Partners、Neuberger Berman、General Catalyst、American Express Ventures、Ericsson Ventures、HSBC、JP Morgan Chaseから支援を受けています。Menlo Securityの本社は、カリフォルニア州のMountain Viewにあります。詳細は、www.menlosecurity.comをご覧ください。

【本プレスリリースに関するお問合せ】
メンロ・セキュリティ・ジャパン株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル4階 FINOLAB
マーケティング担当： japan@menlosecurity.com
日本語Webサイト： https://www.menlosecurity.com/ja-jp/
グローバル Web サイト：https://www.menlosecurity.com/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com